

## 第三十二回

### 熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

#### 熊本市賞

復帰待つ白露の城の武者返し

熊本県熊本市 上田 幸子

#### 特選三句

堀端の木犀匂ふ戦没碑

熊本県熊本市 角田 光明

崩れたる石垣低く草茂る

愛媛県松山市 松長 聡美

雲の峰築城今に見るごたる

愛媛県松山市 松長 風来

投句総数 三十一句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

### 法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

奈良・斑鳩町賞

池に鹿入り動かぬ暑さかな

東京都板橋区 榎並 伸一

特選三句

苦勞の日苦勞にあらず豊の秋

奈良県大和郡山市 菊本 章生

いかるがの稲刈る赤きコンバイン

奈良県北葛城郡河合町 荻野 鷹生

田に余力ありて出揃ふ穰の穂

奈良県大和郡山市 中西 健

投句総数 九十四句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞三句

舶来の風情に遊ぶ赤蜻蛉

愛知県名古屋市

今井

竜真

洋館の階段に絶え秋の蝶

神奈川県横浜市

金子

きよ

あさがおがまきつきたいと木をさがす

京都府京都市

町田

充子

# 特選三句

さわやかな汗をかくかく明治村

愛知県半田市 進藤 克己

明治村れんがの門と赤とんぼ

愛知県名古屋市 東野 礼豊

草じらみひつつきむしのドット柄

愛知県安城市 佐藤 和代

投句総数 八十三句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」主宰

高岡 周子 選

特選三句

鶉が埒をさがす子規の庭

東京都葛飾区 上野 重光

置替へ子規終焉の部屋を守る

鳥取県西伯郡南部町 坂口 恵子

代筆の律の太文字子規祀る

埼玉県狭山市 古谷 彰宏

投句総数 七十二句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

秋の午後軍艦三笠の映写室

千葉県我孫子市 黒田 彰一

副砲の射す秋空の蒼きかな

千葉県館山市 桜井 泰

夏期講習乙の旗が翻る

神奈川県横浜市 本宮 沙也加

投句総数 四十四句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

晴天の水面に映る秋の雲

大阪府大阪市 齊藤 昌佑

秋雨に鎮もる大和呉の海

神奈川県鎌倉市 恒成 香織

みあげればがれきのうえのこいのぼり

大阪府堺市 永谷 響

投句総数 四十一句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

猫塚の漱石山房秋の薔薇

東京都豊島区 岡田 圭子

新涼や久方ぶりに服を買い

東京都新宿区 大畑 雅敬

見わたせばすべて青色夏の海

東京都新宿区 下郡 大輝

投句総数 一〇八句

開函日 平成三十年十月三十一日



## 第三十二回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

ますらをに思ひ巡らす五月晴

千葉県市原市 相葉 ゆかり

魂の眠る会津の蟬時雨

千葉県松戸市 岩佐 達郎

秋風や城より十九の墓みゆる

神奈川県川崎市 大場 あすか

投句総数 一三三句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

佳き噂聞きに角出すかたつむり

埼玉県東松山市 大井 正行

ぶなの根を洗ふ清流つた紅葉

埼玉県東松山市 関口 高榮

どろぼう橋渡れば寺領秋涼し

埼玉県東松山市 波多野 愛子

投句総数 三十九句

開函日 平成三十年十月三十一日

## 第三十二回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

俳句のまちあらかわ賞

糸瓜忌のおもひに耽る古机

埼玉県さいたま市 増田 信雄

特選三句

唯一羽声なく渡る月の雁

東京都荒川区 高安 政江

坂の名を古地図に探す夜長かな

東京都荒川区 谷井 千絵

宿題は夏の魔物と泣く息子

東京都小金井市 中村 碧

投句総数 四十句

開函日 平成三十年十月三十一日